

# 世界に平和を・戦争の基地はいらない

横田基地ミニ情報 2020.8.5 No.387 東京・羽村平和委員会発行



## 横田基地で7月23日、第4ていさつ中隊 創立式典 なぜ横田？

横田基地で7月23日（木）、アンダーセンの無人偵察機319作戦群第1分遣隊を廃止し第4偵察中隊創立式典が行われました。何で横田基地？第4偵察中隊はどこに？



YOKOTA AIR BASE, TOKYO, JAPAN

07.23.2020



## 横田基地のCVオスプレイ 北海道の洞爺湖や千歳空港に

8月2日の日曜日、CVオスプレイ3機（0067、0069、0075）が11時38分、42分、47分に横田基地を離陸しました。しかし、横田基地に戻って来ませんでした。

その後、あちこちからの情報によると、日曜日の真昼間にCVオスプレイが三沢基地に飛来してきた、3日、洞爺湖でオスプレイが撮影された、4日、千歳空港に事前通告なくオスプレイが着陸した」との情報が入ってきました。

CVオスプレイは最近、夜10時、11時過ぎに戻って来るので大問題だと思っていましたが、今度は北海道で我が物顔で暴れ回っています。

一方、横田基地所属の輸送機C-130J-30が沖縄・津堅島訓練水域で、7月30日に2日連続でパラシュート降下訓練を地元の反対を押しきって強行したとの報道がされています。



## 横田基地のコロナ感染者7人 回復者は含まず

米軍横田基地内の新型コロナウイルス感染者数は7、と北関東防衛局を通じて情報提供がありました。ただ、回復した人数は「7」には含まれません。当初の米海軍の第グループや第2グループの感染者も人数不明のままです。もっと詳しい情報を提供すべきです。



## 横田基地 C130Jシミュレーター 開設された!

2年の歳月をかけて建設された、ケーブル付きの大きな白い箱のようなものは、横田基地に開設されたフル機能のC-130Jスーパーハーキュリーズ兵器システム訓練(WST)シミュレーターだ。

「(建設に)長い期間を要したが、我々の訓練能力向上に非常に大きな意味を持つ瞬間だ」と第374運用支援中隊司令ドナバン・ラスキー中佐は、7月27日、新設C-130JWSTシミュレーターのリボンカット式典で述べた。

太平洋空軍で唯一の戦術空輸中隊が置かれている横田基地は、2017年にC-130HハーキュリーズからC-130Jスーパーハーキュリーズへの移行を開始した。そのH型からJ型への移行計画には、C-130JWSTシミュレーターの導入も含まれていた。同シミュレーターは、フルモーションのコックピット・フライト・シミュレーターで、乗員が通常航空機内で行われるのと同じ訓練を達成するための完全な認定を受けている。

「シミュレーターは主に、航空機の緊急時の手順や乗員やコックピットのリソース管理(CRM)に焦点を当てた年に一度の再教育訓練を行うために使用される」と、第36空輸中隊副運用部長クリストファー・ウォルフ少佐は説明した。

シミュレーターは、安全な環境で実世界のさまざまなシナリオを乗員に提供する一方で、パイロット、ロードマスター、整備士が戦術的な空輸任務の練度を維持するためにかかる予算がより抑えられる。

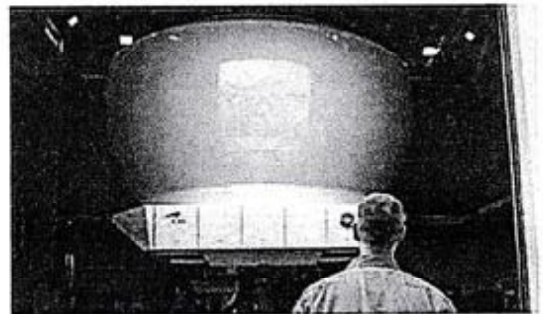
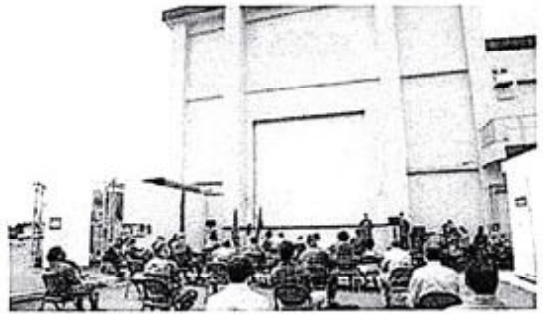
「シミュレーターは、必要な訓練を横田で実施することで、第374運用群の人員費と出張費を年間約45万ドル節約できる。本質的にC-130JWSTシミュレーターとC-130Jスーパーハーキュリーズは同等だが、コスト削減と安全性が向上する」とウォルフ少佐は述べた。

新たに運用可能になったシミュレーターのもう一つの利点は、どんな飛行環境やシナリオも再現できることだ。

「シミュレーターの他の利点は、必要な訓練を行うために、場所、天候、時間帯を無制限に変えることで、C-130Jのほぼ全ての運用環境を再現できることだ。パイロット、ロードマスター、整備士は、アラスカの雪の降る環境でも、アフガニスタンの暑さの中でも、季節を問わず、横田を離れることなく、計器の手順を練習することができる」とウォルフ少佐は述べた。

C-130JWSTを横田の将来の投資としているのは、まさにそのような訓練の柔軟性にある。

「この施設は年間150~200人のパイロット、ロードマスター、整備士の訓練を行うために使われる。高度な能力を有するシミュレーターは、乗員の安全性、チームの熟練度、そしてインド太平洋地域のニーズに応える準備を整えるために極めて重要だ」と第374空輸航空団司令官アンドリュー・キャンベル大佐は述べた。



7月25日 国民平和大行進

7月26日 水環境学習会

